

TL-16KACL

接続可能な画像処理装置・画像入力ボード

FVC07CLMF

サポートする機能

取り込みモード名称 (ファースト呼称)	対応カメラ機能名称	備 考
ノーマル (通常) 入力	内部 SYNC 動作	露光時間は変更不可
ランダムトリガ入力	外部 SYNC 動作	露光期間はソフトウェア設定 (ライン周期)

留意事項

- カメラのモード設定はカメラリンク I/F を通して行われます。
- 指定のない設定項目については工場出荷設定で使用可能です。
- カメラメーカーの提供するカメラコントロールソフトウェアを使用するか、弊社ライブラリ製品に用意された通信用 API 等を使用して設定を行う必要があります。
- 本説明書とカメラメーカーが提供する取扱説明書に記載された通信仕様を参考に設定を行って下さい。通信用 API の詳細についてはライブラリ製品の説明書・ヘルプ等を参照して下さい。

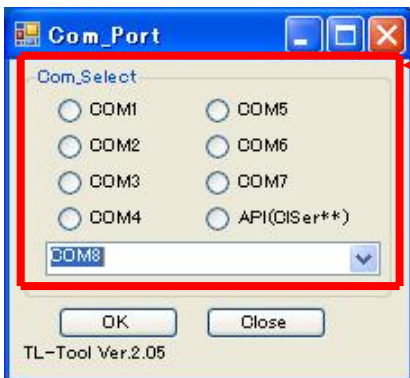
詳細な設定方法およびカメラ仕様につきましては、竹中システム機器株式会社様より提供される、「ラインスキャンセンサ取扱説明書 型式 TL-16KACL」を参照してください。

以下、メーカー提供のカメラコントロールソフトウェア「TL-Tool (Ver2.05)」を使用した場合の設定、及び、通信コマンドを示します。COM ポート番号はボードの設定に合わせて下さい。

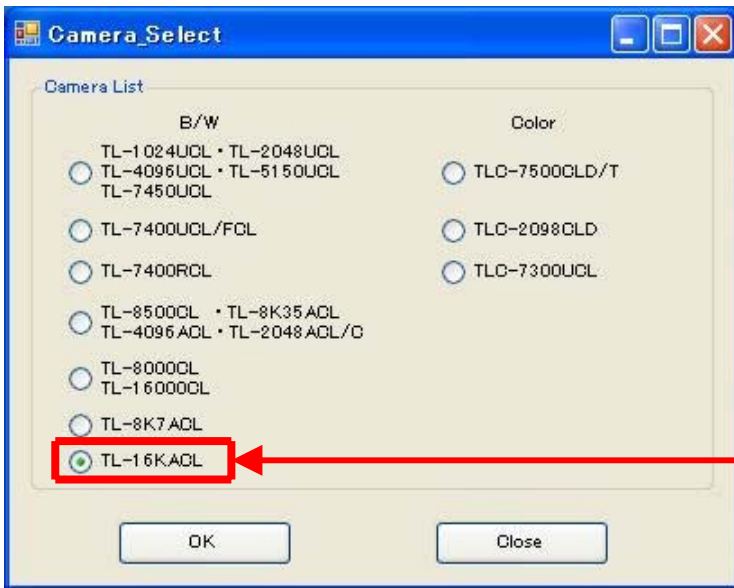
通信の設定

・カメラコントロールソフトウェア

COM ポート選択



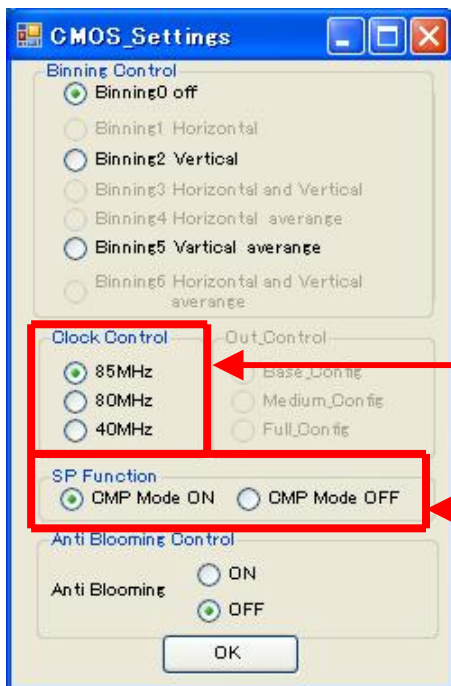
COM ポート設定
→ 「割り当てたポートの設定に合わせる」



カメラ機種選択設定
→ 「TL-16KACL」に設定

各モード共通の設定

・カメラコントロールソフトウェア



ピクセル周波数設定
→ 「85MHz」に設定

スピードモード設定
→ 「CMP Mode ON」に設定



露光制御モード設定
→ 「Line Exposure」に設定

・通信

コマンド	設定項目	説明
speed	ピクセル周波数設定	「1:85MHz」に設定
cmp	スピードモード設定	「1:MAX40kHz」に設定
expc	露光モード設定	「0:ライン露光」に設定

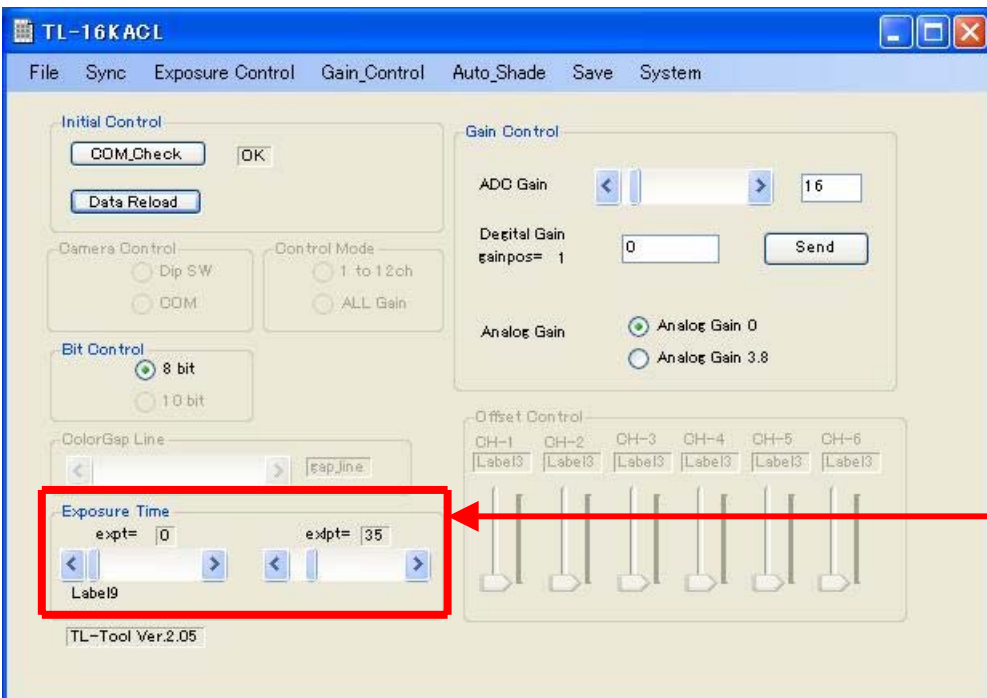
取り込みモードに依存する設定

○ノーマル入力の場合

・カメラコントロールソフトウェア



カメラ動作モード設定
→ 「Internal Sync」に設定



露光時間設定
→ 任意に設定

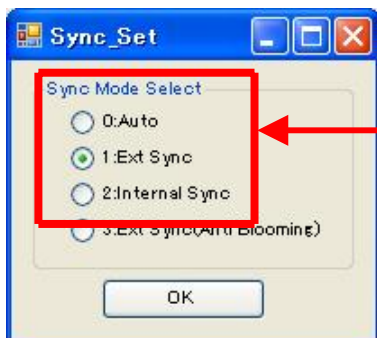
・通信

コマンド	設定項目	説明
sync	カメラ動作モード設定	「2:Internal Sync」に設定
expt	露光時間設定	任意に設定「0~255、デフォルト:0」※
explt	露光時間設定	任意に設定「0~255、デフォルト:35」※

※最速で取り込みを行う場合は、expt、explt共に「0」を設定する必要があります。

○トリガ入力の場合

- ・カメラコントロールソフトウェア



カメラ動作モード設定
→「Ext Sync（デフォルト）」に設定

- ・通信

コマンド	設定項目	説明
sync	カメラ動作モード設定	「1:Ext Sync（デフォルト）」に設定